



夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年

監督:今井友樹
ナレーション:竹下景子
2017年/本編66分/日本

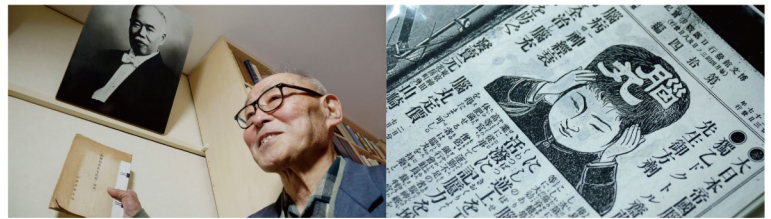
今から100年前、精神病に有効な治療法が無かった時代
座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうと奔走した一人の男がいた

日本の精神医学・精神医療の草分けといわれる呉秀三(くれ・しゅうぞう)氏のドキュメンタリーです。1918年(大正7年)、東京大学医学部精神科の教授だった氏は、全国の精神患者がどのように扱われているかを調査した報告書「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」をまとめました。当時、多くの精神障害者は自宅の座敷牢に幽閉されており、氏はそうした状況の改善のため奔走しました。

それから100年を経た現代でも、精神病に対する誤解や偏見、差別に起因する監禁事件などが起こっています。

現代の精神障害者の問題にはどのようなものがあるか、氏の生涯や残した論文から何を学ぶのか。氏の研究者や座敷牢問題の調査を進める大学教授らのインタビューなども交えて、近代日本が歩んだ精神科医療と精神障害者の歴史をひも解いてゆきます。

令和2年 **2月15日(土)**
午後1時30分～午後4時15分



会場 南田中図書館2階会議室
定員 45名

申込 電話または南田中図書館
方法 カウンターにて受付

上映終了後、今井友樹(いまいともき)監督と四方繁利(よもしげとし/映像文化批評家)氏による対談解説を行います。

練馬区立 **南田中図書館**

〒177-0035 練馬区南田中5-15-22
☎03-5393-2411